

特集 管路の包括的民間委託

管路施設の包括的民間委託の報告書発刊 管路の包括管理導入段階へ

提 案

わが社が考える 管路の包括管理

日本水工設計(株)

業務の成果を客観的に評価

厳しい財政状況のなか、公共性を保つことに留意しつつ、市場原理を機能させることで、より効率的な下水道事業の運営が求められている。民間の高い技術力、豊富な経営能力を活用する「包括的民間委託」はその有効な手段と考えられる。

包括的民間委託を効果的に機能させるためには、委託業務の目的・目標を明確に定めるとともに、業務の成果を客観的に評価、改善に繋げていくためのマネジメントシステムが必要となる。例えば、コンサルタントは、点検・調査データや維持管理情報と資産情報、会計情報等を統合した、効率的なナレッジシステムを構築し、適切な業務指標とベンチマーキングによって、委託業務全体をモニターし誘導するサービスを提供することが期待される。これにより、長期にわたり低コストで高サービスな下水道運営の提供が可能になることが考えられる。

管理会社・コンサルタントを含む分野の異なる人々が、各々のノウハウを生かし、共通の理解のもとに下水道事業の展開に取り組むという姿勢が大切であり、持続可能な下水道事業の運営に繋がるものと考えられる。

(東京支社下水道2部 石堂暁)

